

平成29年3月11日
株式会社オノプロックス
代表取締役 小野隆史

「あきた電力」発展計画について

あきたの電力ブランド「あきた電力」では、以下の活動を行うことをコミットメントいたします。

【現時点】

1. 「あきた電力」ブランドは多くの秋田県内の事業者様が自社の商品としてこのブランドを取り扱えるよう業務整理いたします。
それにより秋田県内のエネルギー事業者様を始めとする多くの企業様が、お客様との新しい接点を作り出し、地域と企業のより深く結びつきを創出します。
2. 「秋田電力」の収益の一部で、志をともにする皆様と「地域支援プロジェクト」をスタートします。それにより多くの地域・学校・自治体などより多くの皆様との新しい取り組みが生まれ、地域に新たな挑戦のきっかけを創り出します。

【契約 1, 000件達成時】

1. 電力需給システムを100%自社運営化します。これにより独自の仕入れと価格設定が可能になります。
2. 試験的に対象を絞ったオール電化対応料金プランや、反対に使用量の少ないお客様でもメリットのあるメニューの作成に取り掛かります。

【契約 2, 000件達成時】

1. 「あきた100%エネルギー地産地消プロジェクト」のための基金をスタートします。
2. 生活弱者のための特別な料金プランを作ります。
3. お一人暮らしのお年寄りのための「無料見守りサービス」をスタートします。

【5, 000件達成時】

1. 秋田県内の再生可能エネルギー発電所からの電力仕入れを10%にし、100%秋田県産メニューとそれに準じた料金メニューを発表します。
2. フラットメニューを打ち出します。

【10, 000件達成時】

1. 秋田県内の再生可能エネルギー発電所からの仕入れを15%にします。
2. 「あきた100%エネルギー地産地消プロジェクト」を具体的にスタートします。

【2027年度】

1. 秋田県内の再生可能エネルギー発電所からの仕入れを20%にします。
2. 秋田県内で再生可能エネルギー関連従事者の人口を2017年対比で100人以上増やします。

【2037年度】

1. 秋田県内の再生可能エネルギー発電所からの仕入れを50%にします。
2. 秋田県内で再生可能エネルギー関連従事者の人口を2017年対比で300人以上増やします。

【2067年度】

秋田県の山林の資産価値を今の10倍にします。

【2117年度】

秋田県が電気・熱・交通全てのエネルギーの100%以上を秋田県で作り出し、永続的にエネルギーが枯渇することのない社会を秋田から発信します。